

2023.09.21.イエスはラハイナ・マウイを愛しておられる

天のお父さま、私たちがここに集うことを許して下さるこの時間に感謝します。今晚のスピーカーたちを、どうかお守りください、主よ。主よ、彼らが会衆にあなたの御言葉を伝えるとき、あなたが彼らを助け、導き続けてください。この対談にあなたが共に居てください。このような時に、あなたがあなたの民の中で、民を通して、どのように動いておられるかで私たちが励まされることを祈ります。ですから、この対談とこの時間を祝福してください。イエスの偉大な御名によって祈ります。アーメン。

JD：こんばんは。ようこそ。お越し下さり嬉しいです。オンラインの皆さんも、歓迎したいと思います。ではここで、よろしければ、私の友人、ラハイナのカルバリーチャペル・ウエストサイドのステイブ・サントス牧師を温かく迎えましょう。一拍手ー

あなたの花嫁を紹介していいですか？ ステイブ牧師の奥さんキムも温かく迎えてください。それでは…ステイブ：あなたの奥さんもどうです？

JD：いえ。ー（笑）ー

私の妻は巻き込まないでください。

ステイブ：エペソ人への手紙を開きましょうか？ ー（笑）ー

JD：楽しい夜になることは、もうわかりましたね。もう一度、ようこそ。ここに居られる方、オンラインの方も参加下さり嬉しいです。さっそく本題に入り、祈りで始めたいと思います。それから、ステイブ牧師に、神がマウイ島で、マウイ島の人々のためにしておられることについて話してもらいたいと思います。よろしければ一緒に。

天のお父さま、本当にありがとうございます。ステイブ、キム、ニコル、そしてマウイにいるすべての兄弟姉妹をあなたに感謝します。今夜の特別な夜は、ステイブと私が以前から計画し、祈ってきた時間です。主よ、彼がキムと一緒にここにきてくれて本当に感謝します。今夜、ステイブが分かち合うこの時間をあなたが祝福して下さるよう祈ります。私たちはあなたに委ねます。あなたがしてくださることに前もって感謝します。イエスの御名によって、アーメン。

それでは、あなたに話してもらいましょう。会衆はいつも私の話を聞いているので私にうんざりしていますから、ここからはあなたに任せます。Tシャツのことから始めますか？

ステイブ：そうだね。

JD：私がこのようなTシャツを着るのはステイブのためだけです。変な気を起こさないでね。

ステイブ：JDが私に、「来ないか？来ないか？」と尋ねていて、よし行こうとなった時、私たちはずっと友人だったし、この1カ月は、おそらくこれまでで一番多くの時間を彼と過ごし密に話せました。

JD：私を追い出せないからね。

ステイブ：私は言ったんです。「じゃあ、言えるなら、一つだけお願いがあるんだ。」

JDは「何でも、何でもいいよ！」分かるでしょ？「何でも！！！」と。私は「あなたはアロハシャツとかレイン・スプナー（ハワイアンシャツのブランド）とかを着ているのを皆んなが知ってるでしょ？」

「ああ、そうだよ。」「あなたにTシャツを着て欲しいんだ。」JDは、「おお…！おっと～！」ー（笑）ー

JD：そうなんです。「ああ、何でもいいよ」と言った後に、「何でもいいなんて言わなきゃよかった💧」という話です。

ステイブ：これからお話しすることは、主が私の心に置かれた事で、自分たちの町が焼かれ、家族が焼かれ、子どもたちが焼かれたときに、人々に何を伝えるか？ 誰が分かるでしょう。

「ねえ、イエスはあなたを愛していますよ。あなたの人生に素晴らしい計画を持っておられます。」と言っても、その時点で受け入れられません。主が私の心に置かれたことをすべて分かち合いたいと思いますが、ちょっと待ってください。(スティーブ：後ろを向く) 主が私の心に置かれたのは、

「主は風の中にも火の中にもおられず、静かな小さな声で語ろうとしておられる」ということです。

(1列王記 19:12 参照)

主はラハイナを愛しておられます。主は、混乱や破壊や死の作者ではあられません。主はいのちを、灰から美しさをもたらすお方です。あなたが受け取り、掴むことができる聖句はたくさんあります。でも火災があった日、火曜日の朝、5時頃に停電になりました。おかしな火災だと分かりました。で、警報が鳴り出して、「ああ、あと1時間寝れたのに。停電なんだ。」と。家が燃えていないことは分かっていました。私たちは起き上がり、キムは具合が悪く、色々あって、その時点では、腎臓結石か何かだろうと思っていました。私たちは島の反対側に向かいました。ラハイナの診療所には行くことができなかったからです。停電で閉まっていたからです。診療所に着いて、腎臓結石ではないことがわかりほっとしましたが、それでも少し痛みがありました。でも、彼女は大丈夫でした。家に帰る途中、送電線が縄跳びのように揺れていました。これまでも何度も同じようなことはありましたが、ここまではありませんでした。すでに何本かは落ちていました。町を抜けて、早朝に火災が起きた場所を通り過ぎました。でも、もう鎮火していて、私たちはその前を通り過ぎました。その時は火はありませんでした。何も問題なく通り過ぎました。おそらくここからこの駐車場の反対側までの距離くらいです。そして家に着くと、停電していて、風が強いのでしばらく続きそうだと思います。あんな風は初めてでした。私は、44年ラハイナにいます。ラハイナに来たのは、3歳の時でした。ー(笑)ー

JD：待って、待って、待って...頼んだよね？ 土曜日(9/23)は、スティーブの誕生日です。

スティーブ：みんなに歌ってもらいましょう。

JD：彼が何歳か分かりますか？ ちょっと待って。まさか42歳？ 66歳だよ。そう、そうなんです。彼は私より年上で、それに髪の毛が私より多い。だから嫌いです。とにかく、続けてください。ー(笑)ー

スティーブ：でも、私たちが来てから、JDが変わったでしょう？ JDにヘアロイドを持って来たんですよ。ステロイドみたいなものだけど、頭用です。ー(笑)ー

JD：それについては、後で話しましょう。ヘアロイド(痔)の方とごっちゃになってないといいんですが... ー(爆笑)ー もし間違ったボトルを渡していたなら教えてね。

JD：あなたも使ってるじゃん。何を話していたっけ？ そうそう、とにかく、停電していて、私たちは家に着いて、私は妻に、教会に戻って発電機を幾つか取ってくると言いました。教会にあります。家に持って帰って来て、コンセントに繋げるようにしました。停電が1、2日間続くように思えて、分からなかったのです。それで町に出たのですが、町に入るのが大変でした。というのも、私たちが車で通過してから、私が車で戻るまで、車で5分の距離のところ、高速道路では電線や電柱がたくさん倒れていたからです。停電していました。そう、停電です。ラハイナからカアナパリへ北上する主要ハイウェイに、電柱と送電線が倒れています。だから表通りを通ったんです。あの小さな2車線道路を知っている人ならわかると思いますが、他の車が何台も、私が通り抜けようとするところまで来ていて、私こう考えていました。私はそこに住んでいますから、ロングスの駐車場の裏を抜けてオフィスに行き、バッテリーを持って帰る。でも、そこまで行くとすぐに、私たちのオフィスと教会のそばで火災が起きているのがわかりま

した。だから私は、「うーん、あそこには入れないな。」と。引き返そうとしました。それで引き返していると、その間に突然、炭火が空中を吹き飛び、橋の上に熱気やら色々上がってきて、電柱はこんな感じでガンガン曲がっていました。爪楊枝が折れたように見えますが、まだ折れているのではなくて、そして、家に帰るまでに、うちの敷地の娘の家を通り過ぎました。妻の姉妹と夫はそこに家があって、正面にジャンとグラニーの家がありました。この美しい土地に3軒の家があり、自分の子どもや孫に育ててほしいと願う場所です。マンゴーの木があちこちにあり、おそらく15本くらいで、ライチもあります。ライチはもらったことはありません。燃やすべきだったんですね。ー(笑)ー どうでしょう。ラハイナには多くの車が走っていて、その日もそうでした。でも、警察署を通り過ぎたとたん、さらに2本の電柱が高速道路に倒れていました。私はそれらの周りを回って、家に帰ってから、そこの並びに住んでいる娘のニコルにメールと電話をしました。「子どもたちを連れて家に来なさい。あなたたちもここに来なさい。停電だから。」と。少なくとも、こっちで過ごせるから、ここに来るようにと。火が見えました。この写真があればよかったんですが。煙は私たちの後ろで真っ黒でした。皆さんの方が私たちよりも多くの写真を見ているでしょう。丘の上から見下ろした独特の写真もあります。何か酷いものであることは分かりました。ニコルが来るまで...私たちは、彼女らが来れたことに感動しました。想像できませんでした。翌日まで、それが何なのか想像もできませんでした。爆弾が落ちたように見えました。ただ、不思議に思っていました。死亡者数はかなり少なくなったと言われていますが、DNA鑑定に名乗り出ない人がたくさんいます。メキシコ人、ヒスパニック系、フィリピン人など色々な不法入国者がラハイナには住んでいるからです。彼らは名乗り出ようとしません。ですから、本当の数字は誰にもわかりません。しかし、多くの人々です。そして、人々が焼かれて死んだことが分かります。その夜、私たちは家にいて、家族で一緒でした。そして、敷地内にいた別の家族もやってきました。素晴らしいことです。私たちは一緒に過ごし、食事を作り、キャンプ道具は揃っていますから、何をすべきか分かっていました。「ねえ、これがあってよかった?」「よくキャンプしたよね。」話を掻い摘むと、その時、友人のペリーが妻を探してやって来ました。「ローリーを見ていないか? ローリーを見ていないか?」1週間以上電話が通じないので、誰にも電話できません。彼は、最後に彼女と話したとき、彼女は家で、家主老夫婦の退去を手伝っていたと言いました。ペリーは、奥さんローリーに言ったそうです。「そこから出るんだ、今すぐ逃げろ! 僕は、いくつだけ手に持って、人々も最低の物だけで逃げてるのだから。」ローリーは「煙がすごい。煙がすごい。」次に、「真っ暗よ。何も見えない。何も見えないわ! 真っ暗なの!」そして電話回線は切れました。その状況に自分を置いてみてください。あなたの愛する人、誰であれ、その時ラハイナの何千人という人が、電話で同じようなことになっていて...ただただ恐ろしいです。それで彼は私たちと一緒に外に出て、電話をかけ続け、より良い電波を得るために丘の上に車を走らせました。でもダメ、ダメでした。そしてついに、真夜中に我が家にメールが届きました。私たちはリビングルームの床にいて、みんなはベッドルームで、それぞれベッドルームで家族で過ごしていました。ペリーは椅子に座り、壊れてしまい、「彼女は火傷を負ったらしい。彼女は燃えて、酷いやけどを負ったそうで出来るだけ早く搬送されないと。」彼女はストラウブ病院にいます。今も。全身の70%に火傷を負いました。ローリーのために祈ってください。皆さんは食料を運んで下さったり、経済的な援助をしてくださっています。私たちはそうしてきました。ワクサーが飛んできてくれて、あの人たちは本当に優しい。ある日、マイク・スタンゲルが彼らを訪ねてきて、まさに完璧なタイミングです。それは素晴らしいです。そして今、その余波のトラウマを抱えている人々とともに生活しています。仕事がなく、家がありません。人々はとても忙しくなり、

私たちはノンストップ、休みなしの忙しさで、動いて、動いて、動いて...たまに、おそらく1日に1回、少なくともそれ以上ではないにせよ、ある程度、あるいはそれ以上の頻度で、町がなくなってしまったことを実感します。私は思い出したくありません。でも、戻りたいです。あなたはどうしますか？ 非現実的な感じで、これではまるで、誰もが自分の人生を生きているようです。数週間前にオアフ島で開催されたカンファレンスに参加し、彼らは「どうやってこれを割り振るんだ？」というような感じでした。それから先週、ナッシュビルに行きました。私は歌手でもあるからです。ー (笑) ー ダメかな？ オ～♪ 風邪を引いてるんですよ～♪ 私たちは、米国クリスチャン・カウンセラー協会のカンファレンスに出席するために行きました。今から、少しお話ししますが、休息ではありませんでした。14時間のフライトです。前日から起きていたので、ほぼ26時間か27時間起きていました。それから3時間寝て、起きて、このカンファレンスのオープニングに行きました。誰でしたっけ？ J.I.パッカーと言いたいですが、J.I.パッカーじゃありません。彼は誰でした？ ティム・ティーボウ。ティム・ティーボウやボブ・ゴフは作家で有名な人です。ジョージ・バーナとか、バーナのスタッフと、そして私です。私は20分からカットされて...20分の予定だったんですが、うちの教会の人たちは、20分は私には短すぎると言いました。皆さん、今夜は枕を用意したほうがいいですよ。そうは言っても、とても良かったです。非常に素晴らしかったと言っておきます。たいていの場合、私はメッセージをする時、それを見直し、変更し、あれやこれやと手を加えます。何度やっても完璧で、とても良かったんです。彼らはそれはできないと言いました。2分だけだと。2分?! それで、2分のためにアメリカの反対側に飛んで行き、私は2分話しました。しかし、神はそこで動いておられました。間違いなく神でした。そして、私たちは家に帰り、翌朝4時に出発し、ナッシュビルを見ることはなく、何も見ませんでした。ずっとノンストップで、動いて、動いて、動いて。今回の旅でも、JDは「あなたに休んで欲しい」と言いました。私たちは、もうどうやって休めばいいのかわかりません。私たちは文字通り、休み方がわかりません。昨夜の聖書の学びは、ここ数週間ヨシュア記を学んでいますけど、イスラエルは戦いの合間にギルガルに行き、休息し、回復し、リフレッシュしました。そして、神は彼らを再び送り出されます。私は、「ああ、ギルガルが欲しい。私はギルガルに行きたい。」でも私たちにはギルガルはありません。いつになるかわかりませんが、皆さん、私たちが学んだこと、何度も何度も示されたことは、私たちの安息は主の中にあるということです。それが真実です。私たちの安息は主の中にあります。その答えは、周りが火の海になる前と同じでした。何度も話していることですが、みんなラハイナでどん底を味わっています。エリヤのようです。

「ただ命を絶ちたい。神様、私を死なせてください。」ラハイナでは、先日聞いたところによると、これまでに11人が自殺したそうです。イエスがいないと、家族がいない、家がない、町がない、であなたはどうしますか？ そのことを話していた女性は、「次は誰なのか、何人なのかを待つだけ。」と言っていました。しかし、神は良いお方です。そして、唯一は、過去30年間のミニストリーを通し私たちを支えてきたものと同じ、神の御言葉です。聖書を開くたびに、新鮮で、新しいです。これまで100回学び、5回、6回、10回と教えたとしても、ただこれだけです、「神があなたを背負ってくださる。」主は私たちをずっと背負ってくださっています。そしてその朝、ペリーが出発してから目が覚めました。翌日、私たちは気づきました。誰も分からない。私たちは酷い火災、恐ろしい火災が起こった事は知っていました。うちの家の上からその様子を見れました。3000フィート(約30メートル)の高さに煙が立ち上っていました。文字通り、大げさではありません。その写真があります。時速70マイルで、文字通り3000フィートの高さの煙が海に向かって立ち込めていました。そんな炎が熱く燃え上がり、あの炎に時速70マイル

(112.65 k m) の風が吹き荒れる町。100 マイル (160.93 k m) だと仰る人もいましたけど。しかし、熱く燃えていました。だから、何もかもなくなったと知ってからは、何かを見るために車を走らせることはありませんでした。翌日の夜も、まだ全員一緒にいて、料理をして、みんなが快適に過ごせるように最善を尽くしました。その夜、ペリーは飛び立ち、こちら (オアフ) に向かいました。神の御手が完全に彼の上にあります。翌朝、みんなようやく眠りにつきました。キムと私はリビングルームの床に横になり、快適なカーペットを敷いてね。何人かは、あなたのベッドよりこっちのほうが快適だと言って寝転んでいました。私たちは孫たちと一緒にリビングルームの床で寝て、みんな寝ました。朝の 4 時くらいに目が覚めて、ただ横たわって神に尋ねました。

「私はどうしたらいいのですか？ 皆、牧師に何をすべきか指示を仰ごうとしています。子どもを失った人、おばあちゃんを失った人、火災で誰であろうと失った人、愛する人、家、そのすべてを失った人たちのために、私は何をすればいいのですか？」私はただ神に泣き叫びました。「私はただ、神よ、あなたから、あなたの御言葉から何かが必要です。」私は何であれ、言葉を伝えることができるからです。でも、永遠のものがが必要です。永遠であるからこそ効果があるのです。それが神の御言葉です。だから私は、「あなたからの何かが必要です。」そのとき、主は私の心にはっきりと刻み込まれました。家族が火傷を負った人に何をどう言えばいいのかを。

「あなたは彼らにこう言いなさい。主は火の中におられなかった。主は風の中におられなかった。でも、静かな小さな御声が聞こえる。」私はただ横たわって、「神よ、ありがとうございます。私はそれを人々に伝えられます！ 人々に、あれはあなたではなかった、あなたは混乱の作者ではなく、殺し盗み滅ぼすために来られたのではないと伝えることができます。それは悪魔です。しかし、あなたは回復し、慰めるために来られます。」そして、第一列王記 19 章を開きました。その話を読み始めました。少なくとも数回は教えたし、何度も参照した箇所です。エリヤが、いかに死にたがっていたのか、彼は、山の上で天から火を降らせて大勝利したばかりです。誰がそんなことをします？ 大勝利ですよ。今、エリヤはアハブのひよこ、彼の妻イゼベルから逃げています。ひよこって言います？

JD：ステーブ、あなたは私よりずっと上手に教えていますよ。－ (笑) －

ステーブ：だからエリヤはひよこから必死に逃げています。

JD：少し良くなったよ。ちょっとね。

ステーブ：彼女はエリヤを殺したがっていて、エリヤは彼女を恐れています。アハブのことは恐れていなかったのに。でしょ？ ああ、女性を恐れるのは罨です。－ (笑) － エリヤは逃げて、逃げて、逃げて、エニシダの木を見つけます。とにかく、その下に腰を下ろし、「私は死にたい」と言いました。すると、主の御使いが現れ、彼に、温かいパンと水を与え、休息が必要だと告げます。エリヤは休みました。彼が目覚めると、主の御使いが言いました。「パンも水もまだあります。あなたは休む必要がある。目の前の旅は、あなたにとってあまりにも大きいから。旅の道のりは長いだから。」(I 列王記 19:7 参照) 多くの翻訳がありますが、どれも完璧です。ラハイナの人々が今置かれている状況を表していると思いました。彼らには食べ物が必要です。火災が起こった時点で、1日、2日の食べ物を必要としていました。水が必要でした。そして休息が必要でした。そうすれば、物事を理解することができ、神の御声を聞くことができます。そうしてそれが始まりました。人々は食料を手に入れ、たくさんの食料を手に入れ、多すぎることはありませんが、そして、いたるところに水がありました。今、私たちのオフィスには多数の水のケース、たくさんの水があります。話を掻い摘むと、彼らに必要なのは神の御声を聞くことで

した。神はエリヤに言われたのは、『あなたにはまだ、長い道のりがある』と。彼の40日間の旅を支えたのは、神が与えられた食事でした。それが私たちに起こるのです。神が与えてくださったもので養われ、神はこの先の長い旅路を支えてくださいます。そして私はまだ、ギルガルを探しています。でも、エリヤは洞穴に入りました。皆さん、その話をご存知ですね？ 洞穴に入ったら、神はエリヤを洞穴から呼び出されました。「洞穴の中で何をしているのか？」(I 列王記 19:9)

しかし、主は彼を呼び出す前に、力強い風を送られました。でも主は、風の中におられませんでした。次に地震がありました。主は地震の中におられませんでした。そして大きな火が上がりました。でも、主は火の中におられませんでした。吹いてきた風は、岩を砕いたと書いてあります。あまりに激しく吹いたので岩を砕きました。(I 列王記 19:11) 完全な破壊です。そして地震と火が重なり、エリヤはそこにいて、主は語られました。その時「静かな小さな声」、あるいは「優しいささやき」が聞こえたと書かれています。(I 列王記 19:12)

私たちが喜んで耳を傾け、心を開いていれば、神とはそういうお方なのです。主はエリヤに語りかけられ、彼を洞穴から呼び出して言われました。「そこで何をしているのか？」彼は言います。「私はずっと善良で、忠実でした。イスラエルはあなたに背を向け、他の神々を追い求めました。」(I 列王記 19:14) 基本的に彼は自分の言い分と苦悩を語ります。神は彼に答えられず、再び尋ねられました。「エリヤ、そこで何をしているのか？」主は彼に言われます。いいですか？ 皆さんにも自分の洞穴がありますよ。ないとは言わないでください。誰にでも洞穴はあります。(誰でも隠れ逃げ込みます) 私は毎朝、洞穴の中で目覚めます。「そこで何をしているのか？」エリヤは言います。「私は善良で、よくやり、正しく生きてきました。しかし、主よ、あなたの民、イスラエルは、他の神々を追い求め、不忠実でした。」主はどれにも答えられません。主は言われます。神の答えはこうです。「あなたは来た道に戻りなさい。」(I 列王記 19:15 参照)

それだけです。「来た道に戻りなさい。」私は思いました。「主よ、私はもっと学びたいです。あなたがこの箇所に私を導かれたことは分かっています。」私は読み、考え、神は『来た道に戻りなさい』と言っておられる。エリヤはどこから来たのか？ 彼は山頂の勝利からやって来ました。彼は天から火を呼び起こすことができる信仰のあるところから来ました。以前にそんなことがありました。そう、前にそうして歩んだことがあります。私たちは以前、その中を歩んでいました。しかし、状況が厳しく、恐怖の中で歩き、生活したりしている時、それがどのような状況であっても、思い起こす必要があります。そこで私たちは互いに助け合い、私たちは互いに思い起こさせ、あらゆることで励まし合う。主は言われました。

「あなたが来た道に戻る必要がある。」そして彼にこう言われました。私にとっては、いろいろな意味で預言的でした。主は「来た道に戻ってほしい。そして戻ったら、あなたはハザエルを見つけます。その時、彼に王として油を注ぎ、エフーを見つけたら、そこで彼に王として油を注ぎなさい。そうして、あなたはエリシャを見つける。彼もあなたのためにそこにいます。あなたは彼に油を注ぎ、あなたの後を継がせなさい。」(I 列王記 19:15 以降～以下同様)

その後、主はこう言われます。「それだけでなく、わたしはあなたが戻ると、指導者たちをあなたのもとに連れて来ます。わたしはバアルにひざまずかなかった7000人を残しています。」基本的に7000人は... 「エリヤよ、あなたは自分が孤独で、自分しかいないように感じていますが、あなたと同じような、あなたと同じ心を持った7000人の人たちがいます。」私はこんな感じです。「神よ、あなたはあまりにも良いお方です。」そして主は、JD やジャック・ヒブス、ビル・ストーンブレイカーのような兄弟の指導者たち

を連れて来られ、このすべての始まりに、私を祝福してくださいました。トッド・ヴァンフィアは、私たちの人生に現れたばかりの人です。つまり、指導者的な人々です。そして同時に、「7000人があなたと同じ心を持っている」と。面白いことに、カンファレンスでは全員が2分間しか話す時間がなかったのですが、私はその2分間でこのすべてを話しました。「スティーブ、今夜はそれ（2分）ができないの？」—（笑）—でも、ただ言いたいのは、「今ここで見ている人たち、あなたがたはその7000人だと信じます。」そう、このカンファレンスには7000人がいました。「神はあなたたちを必要としておられます。神は皆さんのような、今オンラインで見ているような人たちを必要としておられます。」あなたがまだ見てくれているならね。—（笑）—そばに来て、心を低くし、カンファレンスで私が言った御言葉に、多くの人が「それが大好き」と言います。このような悲劇が起きると、誰もが「現地に行くべき、現地に行くべき」と言います。でもそれ以上に、私は心からそう信じていますが、それは地に伏す聖徒たちであり、私のような者が再び丘に立てるよう励ますため膝を屈め神を信じ奇跡を信じる聖徒たちです。家内は私の側にいてくれますが、簡単なことではありません。これまでで一番難しいことです。私たちはただ、それを口にするのも嫌でした。「次は何だ？」みんな同じように、コロナを経験したようなものです。「次は何だ？」と。そして火災が起きました。いろいろなものが燃えて、「次は何だ？」私たちは終わりの時代に生きています。JDがあなたの牧師だから、ご存じですね？でも、それはJDが言ったからではなく、神が仰ったことだからです。

JD：スティーブ、ありがとう。

スティーブ：ええ。神が彼に言われたのです。言いますと、実は突然娘が癌になりました。ステージ3です。「それを打ち負かす。私たちにはできる。私たちは強い。神はそれよりも強いお方。」1年間、何の広がりも成長もありませんでしたが、次はステージ4でした。私は娘と一緒に医者に行きました。彼女の夫はその日行けなかったのが、父親が行くことになって。私はそれが良くないことだと知っています。彼女はこの苦しみを経験しています。最初は胸に3つのしこりがあって、それが妙に変化して大きくなっていきました。そして次の瞬間、ステージ4。肋骨、胸骨、肩甲骨、肝臓、リンパ腺に転移しています。医者は、言いました。「半年から2年でしょう。化学療法を施し、できる限り命をつないでいきます。」そして今、娘は、癌ではありません。（会衆：ハレルヤ）—拍手喝采—

化学療法の後、彼女はあらゆる自然療法を行いました。それが大きいのです。大きなことです。それがなかったら、今の彼女はなかったでしょう。もし彼女がそうしなかったら、、信じられません。彼女はこれまで私が見たことのないほど強く、化学療法を乗り越えることができました。吐いたりすることもなく、吐き気は少しありましたが、驚くべきです。神から与えられたもので、私たちはできることをします。それで、彼女は化学療法を受けた後、他の治療も併用し、最終的に病状は桁外れに変化しました。医師は彼女が（自然療法を）併用していたことさえ知りませんが、私はそれが大きく関係していると信じます。彼女の胸にあった1センチのしこりが、9個から1個になりました。それらは巨大化し、合体し、胸には1センチほどのしこりがありました。JDや他のカルバリーチャペルの牧師たちは、祈りの中で私たちを支えてくれました。JDは、何年も前からニコルに心を寄せ、彼女を知っています。そうは言っても、神が私たちを乗り越えさせてくださいました。ギルガルのように休息すると思いきや...「私たちはもうギルガルにいる...」そして停電になり、風が吹き荒れ、私たちには分かりません。誰にも分かりません。昨日、銀行にいた女の子が言いました。「私たちは誰ひとりとして明日を約束されていない。」誰も明日は約束されていません。もしかしたら神はあなたに明日を約束するかもしれませんが、それはあなた自身のラ

ハイナを伴うかもしれません。だから、キリストの体と神の御言葉が私たちのすべてなのです。

エリヤの話に戻ります。そこから先、彼がエリシャを見つけた時を思い出すと、古典的です。これは今夜ここにいる誰か、あるいはオンラインの誰か、他の誰かのためかもしれません。エリヤがエリシャを召しに行ったとき、エリシャに自分の外套をかけました。(I列王記 19:19 参照)

エリヤは「私が何をしたか分かるだろう。」エリシャは「ええ、十分わかります。」しかし、エリシャは自分が何をすることになるのか分かっていませんでしたが、献身しました。基本的に、彼が献身したのは、「私はあなたについていきます。」あなたは私の預言者であり、私が従い、仕える神の人であるというだけでなく...彼は、いつか自分がイスラエルの預言者としてその立場を引き継ぐことになるとは思ってもいませんでした。エリヤの場合は、皆さんご存知のように、エリヤが天に召される時、火の戦車が下って来ましたね？

戦車が下って来た後、川を渡り、エリシャはエリヤに叫びました。「わが父よ、わが父よ」(第二列王記 2:12 参照)

神の戦車と馬、火の戦車です。エリシャはエリヤを「わが父」と呼びました。エリヤが「さあ、下がっていなさい。私はここから行きます」と言い続けても、エリシャがあきらめず、エリヤに従わなかったのも無理はありません。エリシャは、「いいえ、私はあなたと一緒に行きます。私を置いておくことはできません。」第一列王記 19 章に戻ると、エリシャが荷車と牛を燃やして生贄に捧げたときは真の献身でした。「私は神に従います。ここが私が神を見る場所だ。私はこの人の中に神を見ます。神は彼を用いられます。彼が行くところに私も行く。私は彼を支える。私は彼に仕える。」

エリシャはもう戻らないようすべてを捨てたのです。イエスがどういうお方かを本当に知ると、神は、私たち一人ひとりにそう召してくださるのだと思います。神が私のために、私の人生のためにしてくださったことを理解する時に。それはまるで、他のことはどうでも良くなるんです。でも、エリシャの目の前に何があったか知っていますか？様々な戦い、様々な葛藤がありましたが、彼はギルガルに行くことができました。そうなんです。でも、それはすべて、神が私たちを背負ってくださったということです。今、私たちは火災の夜と同じように主に頼り切っています。どれだけ多くの話があるでしょう。道すがら、多くの人に出会って話をすればするほど、火災の夜の話や、水の中での人々のことを話してくれます。銀行に行ったら、昨日だったか、記憶が曖昧ですが、でも、一昨日は銀行で4時間。そんなに必要ないのに。しかし、かわいい女性が、家族のこと、義理の父が火災にあったこと、79歳の老人のことを話してくれました。4日間、彼が死んだと思っていたのですが、その後、生きていることがわかったと。彼の建物が燃えたので、彼は焼死してしまったと思ったのです。電話が通じず、つながらなかったけれど、ついに見つかったのです。皆、それぞれのストーリーがあります。今はまだ戦場です。今もまだ... 私たちは、祈りと癒しの心を持って来てくれる人々を必要としています。カウンセラーも必要です。物事が進み、前進し、人々がアドレナリンが出るのを過ぎれば、これまで以上に多くのことが起こるでしょう。今日キムが言っていたように、体にたまったストレスが抜けない感じだと。それが終わりを告げ、私たちが何を失ったかを改めて思い知るとき、カウンセリングの必要性が高まるでしょう。これまで以上に神が必要でしょう。それが私の心です。神は私たちの教会を用いておられます。多くの人々が火災で家などを失い、故郷を離れてしまって、残された人々と共に、神はそこで働かれます。

JD：私と分かち合ったことについて、少し話してください。また、神が何をしておられるのか、そうでなければ開かれることのなかったどんな扉を開いておられるのか、ホテルでなどについても少し話して

ください。多くの人々が、かつてないほど心を開いていること。あなたはとても興味深いことを教えてくださいました。今夜は、火災が起こる前の人々の苦悩について、皆と分かち合っしてほしいと思います。そしてこれが起こり、その上に、さらに重なったことを。言い換えれば、彼らはこの恐ろしい、想像を絶する経験に、結婚の問題、経済的な問題、家庭の問題、これらすべてが巻き込まれたことを。神がそこで何をなさっているのか、少し話してください。

スティーブ：私たちが人生で経験するような苦悩の数々は、その多くが一瞬、一日、数日で忘れられます。しかし、それから、それらはホラーのようにやって来ます。敵の攻撃があります。「以前から結婚生活に問題があったのか？ では、住む場所を探そうとしている今、試そう。」

自分は分からないときに、「ホテルにいる間は、5つ星ホテルで1日3食しっかり食べているんだ。これ以上何を望むんだ？」と。「そう私には分からない。10月中旬には出て、どこに行くのか誰も分からないから。」それがすでにストレスのある結婚生活にストレスを与えないのであれば、何がストレスになるのか私にはわかりません。ミニストリーでさえ、キムと私はフルタイムでミニストリーをしています、多少のストレスはあります。(謙遜) 少しはね。(謙遜) JD、この男はバターです。－ (笑) －

でも、これは JD が私に言ったことで、ケリーのことで、JD ではありません。－ (笑) － でも辛いです。敵はあらゆる手段を尽くし、破壊するためにあらゆることをします。子どもたちはまだ問題を抱えていて、薬物問題はまだ残っていて、アルコールの問題もあります。興味深いのは、火災後数日間、逃げ道がなく、水や食料を運んでくること、面白い事に、ビールやアルコールが大量に持ち込まれることはありませんでした。だから、しばらくの間はそういうものはありませんでしたけど、今はそのギャップが埋ろうとしています。今、人々は自分自身を麻痺させることに戻っています。先日、教会を通りかかった人がいて、その日の朝、私たちに訪ねてきました。私たちの教会では、公園で教会を開き、30年間、屋外で続けています。私たちの建物は、今は入ることができません。それはまた別の話です。というのも、そこは火災地帯のど真ん中だからです。すべて無傷です。こんな感じで、一回り小さいです。しかし、毒性があります。空気中には鉛があり、アスベストもあります。濡れると蒸発し始め、水が当たると蒸発し、シアン化物が浮き出て、他にシアン化物とストリキニーネだったと思いますが、ガスなど他にも色んなものが発生します。だから、私たちにとって本当に安全な場所ではありません。でも、私たちは公園で集まっています。もう30年になります。日曜日の礼拝が終わった後、私は車を運転して出て行きました。人々がこの男に話しかけています。彼らは私に「ああ、車を止めて。」と言い「ねえ、この人が私の牧師だよ。彼と話して。」とその男に話し、彼は「ああ…、本当にハイなんだ。今朝、フェンタニルをやったんだけど、なんだか本当にハイなんだ。」彼はあんなものを飲んでも死んでいないようで、そういうことも起こり得るんです。人々は自分自身を麻痺させていて…神は私たちを呼び戻しておられます。私たちはそこに戻ろうとしています。おお、そうだ。(妻のキムを見ながら) ほら、彼女が携帯電話を構えたときは、(サインが出ます)

JD: ええ、私の妻もしますよ。彼女はサインを出して…

スティーブ：ええ。でも、それは残酷です。娘のニコルは癌と闘い、今も治療中で、3週間おきくらいに治療のために本土に飛びます。時々行くことになるでしょう。(JD: マイクが離れてるよ) ああ、すみません、このようなもの(マイク)を持つのに慣れていないんです。私はマイクを持つタイプではないんです。私は、ええ、ワイヤレスとか。手が必要なんです。私はポルトガル人だから。－ (笑) －

娘はよく文章を書いていた。娘はこんなことを書いていて、Facebook でそれを見るまで知りません

でした。キムに頼まれて、私は読んだんです。今から皆さんに読ませてください。娘は32歳、2人子どもがいて、孫息子のリアムは、来週4歳になります。孫娘のライリーは8歳半で、彼らは私たちの喜びで、心から愛しています。本土の孫たちも。でも、今は私たちと一緒に住んでいます。なので私たちの家は彼らの家でもあります。2、3日経つと、家に帰りたと言わない日はありません。ライリーは燃えてしまったことを理解しています。リアムは壊れただけだと思っていて理解できません。娘はこう書いています。

「悲しみはとても混乱する。悲しみは人によって違う。このようなことが起きてから、あまり投稿していませんでしたが、これが私が今感じていることです。『悲しみ』それは曲がり角を曲がって、家まであと2分だと思っていたのに、家がなくなっていることに気づくこと。それであなたは泣き出す。それを隠そうとするのは、子どもたちがやっと落ち着いてきたから。それは、あなたの携帯電話が、あなたの家がXマイル離れていることを告げ、携帯電話があなたに新しい家があることを認識させる。なぜなら、あなたは1カ月以上も本当の家に戻っていないのだから。それで、新しい家の住所が送られてくる。そしてまた、涙が止まらない。あなたは新しい家にとっても感謝しているけど、そこはあなたの家ではない。事務処理や助けを求めることに忙殺され、立ち止まったり、感じたり、考えたり、整理したりすることができない。あなたの親友が、他の多くの人たちと同じように、家族のための家を見つけられないために引っ越しを知ることを知る。涙が流れるのは、この火災がいかにみんなを引き裂こうとしているかがわかるから。すでに他のすべてを失っているのに、親友を失いたくはない。彼女が家族のための家を見つけたことを喜ぶ。でも、それがラハイナであるはずがないことに心が痛い。車で通り過ぎるとき、フェンスやバリア越しに、かつて自分の生活であったはずの瓦礫を少し垣間見る。」

彼らの家は、道路のすぐそばにあるのに、車で通り過ぎるのです。目を向けないわけにいきません。そこにあったから。多くの方が自分の家を見ます。知らなかっただけ。全国ニュースで出た写真、通りの向こうの公園の、彼らの家が背景の写真には、美しい石柱や玄関ポーチがたくさん写っていてこのあたりで唯一残っているのがそこに見えます。続けて書いています。「車で通り過ぎるとき、フェンスやバリア越しに、かつては自分の生活だった場所を見ようとする。」今は大きな黒いバリアが張られ、見るができないからとても悲しいです。たとえ見なくなかったとしても、見ることで慰めになるでしょ。

「あなたの大切な思い出は今、頭の中と数枚の写真の中にしかない。それは喜びと悲しみが入り混じり、すべての思い出を喜びながらも、もう二度と同じような思い出はないことに気づいて立ち止まる。それらはすべて焼き尽くされてしまったから。驚くような時に打ちのめされ、他には全く存在しない。泣くべきときに無感覚になり、何の理由もなく泣く。子どもたちのため、できる限り強くなる事、同時に悲しみを感じても大丈夫だと子どもたちに示そうとする。子どもたちに物事を理解してほしいと思っているのに、自分自身は立ち止まって本当に深く感じ、理解する時間すらない。それはパニック発作、家族のいない島の反対側に、診察のためにいるとき。頭ではすべて大丈夫だとわかっている。でも、体はパニックに陥り、息もつけない。道路が閉鎖され、停電になり、すべてのアクセスと通信がまた何日も遮断されるかもしれないのだから。煙の匂いがし始めたらずぐにパニックになる。隣の家の煙探知機が鳴るかすかな音を聞いただけでパニックになる。以前は平穏をもたらせてくれた風が、今は恐怖で全身を満たしている。万が一の事態に備えて、数少ない持ち物、少なくとも重要な書類をまとめずどこかに出かけることを恐れる。歯ブラシと歯磨き粉を引き出しに入れられない。また逃げねばならないかもしれないので、カバンの中に入れておくから。それは、安全で快適な寝床と食事があることに対する罪悪感。それは罪悪

感。あなたは来月どこで寝るかわかっていて、他の多くの人たちには分からないから。それは罪悪感。すべてを失ったかもしれないが、愛する人を失ったわけではないから。友人の家が大丈夫だったことを知ったとき、嬉し涙を流す。なぜ彼らなのか、なぜ私なのか、なぜ私ではないのか、ということはない。しかし、ただ純粋な、絶対的な喜びだ。すべてを失ったとき、彼らがまだ何かを持っていることに感謝する。絶えず変化する強さと壊れやすさのバランスを見つけようとする。神の備えと忠実さを心から信頼する。神はいつもご忠実でいてくださるから。しかし、主を信頼しながらも、主があなたを創造され、あなたに与えたすべての感情を感じながら歩むことのバランスが理解できない。そして自分の感情に罪悪感を感じる。自分が主を十分に信頼していないと感じるから。泣く。車道にかかった安っぽい日陰を見て、夫が車道にかけた日陰を思い出し、10年間そこに駐車していたのに、もう二度と駐車することはないだろうから。最も単純で、ありふれたことがきっかけで、両親や夫と夜遅くまで笑い合う。だって、もう悲しむ気力もないから。混乱と荒廃の中で平安と慰めと強さを見つける。これ以上のことはない。でも、それを言葉にするエネルギーがない。そうは言っても、私は決して失望させることのない神を信頼している。私は人間だから、時には壊れそうになる。しかし、神はご忠実で、真実なお方。主は私たちを養ってくださると約束してくださった。私たちは、その道の一步一步を信頼し続ける。私の心と魂は平穏だが、感情を吐き出す必要がある。私はいつも書き出すことで物事を整理する。私は作家ではないけど、整理する時間を見つけようとしながら、私が感じているすべてのことについての小さな洞察を分かち合うことにした。助けてくれたすべての人に感謝します。祈ってくれている人、手を差し伸べてくれている人に感謝します。ニコル。」

これが今、ラハイナにいる 1000 人以上の人々が感じていることです。今のラハイナがどんな感じか知っていたければ、この文章の通りです。煙、煙の匂いがします。ちょっとした火災は何年も起きています。今は煙が出たら、車で近所を回って確認します。火災がどこから発生しているのかを。正気じゃありません。しかし、神は良いお方です。神はご忠実であります。私たちは主に信頼を置いています。それしかありません。そして、主は素晴らしいことをしてくださった。その過程でいろいろなことがありました。話したように、神が連れて来られた指導者のような多くの人たちが、私たちを助け、助けてくれています。あの 7000 人のうちの何人がそこで、道すがら私たちを待っていて、それを見つけるのが楽しみです。私たちは孤独ではありません。あと、何か忘れていたことがあったかな？ 彼女（キム）が旗を振る前にね。JD: 私の妻のように、ご主人のためにサインを出しますか？ やりますか？ アイディアがいますか？ 妻に電話させましょうか？ では。角を曲がりましょう。わお...これは...では、神があなたたちと共に今しておられることについて少し話してください。それは少しほろ苦いことで、多くの人々が去っていったからです。おそらく、二度と戻ることはないでしょう。そして、献身的なギデオン軍の人数以下になります。あなたのコメントには本当に勇気づけられ、感動させられました。あなたはこう言いました。

「私はどこにも行かない。ラハイナは私の町だ。神はこの人々のために私をここに置かれた。」ラハイナの人々への牧師の心を分かち合ってくださいか？

スティーブ：ええ、私が育ったといえる場所なんです、本当に。私は 24 歳で、そこに移り住みました。まだ成長途中でした。多くの人には知っていると思いますが、男というのは 30 代になるまで成長しないものです。特にラハイナでは。あそこは「ネバーランド」です。男たちはサーフィンとパーティーをしに来て、そして死ぬんです。事実です。しかし、神が私の人生にキムを連れてこられたとき、私は同じような人々の中にいました。そして結婚後、神は私を牧師として召されました。私は心を主に捧げ、それから彼

女は救われました。彼女とはバーで会いました。私はバーテンダーだったんです。彼女と結婚したかったのですが、私はめちゃくちゃでした。自分の心を再び主に捧げました。私は強いクリスチャンの家庭で育ち、主を、完全に知っていましたから。そして次に、彼女が主に心を捧げました。私たちは結婚前のカウンセリングのクラスに参加したのですが、数少ないカウンセリングのひとつで、結婚直前になって、牧師が彼女と私を見て言ったんです。「言っておきますが、私が本当に信じているのは…」この話、(JDは)聞いたことがあるか分からないけど...

「言っておきますが、この男はいつか牧師になると私は信じています。」私たち二人は笑い出しました。文字通り、大笑いしました。私は「おい、おい」私がゲップをすると、まだ煙が出ている頃の話ですよ。

(タバコかシガラの吸い過ぎ)しかし、主は計画をお持ちでした。それで、私たちはラハイナで、夏の間、公園で教会を開くというのがアイデアでした。それが私たちの人生になりました。そこで私たち2人は本当に成長しました。大人になり、神に仕え始めました。誘惑に駆られ、逃げ出したい誘惑に駆られます。今、多くの人が立ち去っていますから。立ち去らざるを得なかった人たち、全焼した人たち、家への立ち入りが出来ない人たち、仕事がない人たちが大勢います。あるいは、たとえ仕事があったとしても、家があったとしても、もう町はありません。ラハイナだったものがすべてなくなってしまったような感じです。唯一良かったのは、みんなが集まるバーや主要スポットがなくなったことです。しかし、志あれば事ついに成る、でまた別の場所でパーティーを開き、据えるでしょう。それだけ誘惑的だということです。こういう考えが浮かぶのです。「神がこの家を何年も前に与えてくださった。今の物価ならこの家を売って、どこかで老後を過ごそう。」

キムは今朝、車を運転しながら私に聞きました。『どこがいいとか、もしもとか、何か考えたことはある?』私を説得しようとしたわけではありません。彼女は、私の心を知っていて、神が行けと言わない限り、私はどこにも行きません。時には、つらいこともあるだろうけど、彼女は私と一緒にいてくれます。私たちはこう思います、「ねえ、どこかで普通の生活を送ろうよ。」でも話したように、こういうことです。

『一頭のクジラに二人分のスペースはないが、神は道を見いだされる。』主は私たちをラハイナに吐き戻してくださいました。— (笑) — 一人がクジラの中に3日間入っていたんだと思います。(ヨナ記参照)ただ神の御心に従うだけです。分からないのは、最初に教会を始めたときの私たちの願いは、主のためにマウイ島の西側に影響を与えたいということでした。私たちは長年にわたってそうしてきました。毎年、公園に何千人もの人が訪れます。素晴らしいことですが、非常に大変です。基本的に、もう一度教会を始めるような感覚に戻ります。数少ない忠実な人々、素晴らしい忠実な奉仕者たちがそこにいます。どうか私たちのために祈ってください。私たちは祈りが必要です。ラハイナに祈りが必要です。どんな理由であれ、神が御言葉を分かち合う声と心を必要としておられることは知っています。私はそう信じます。信じます。それが人々の人生を変えます。あなたが神の御言葉を信じていることを彼らが知るとき、あなたがその愛を知っているからこそ、彼らの目を見て、神がどれほど彼らを愛しているかを伝えることができるのです。そして人々を見て…先週の日曜日に話したように、彼らの涙や自分の涙を通して、彼らの目を見つめ、学ぶことができます。そのひとつは、何度も話していることですが、今まさに、誰もがこれを学ぶ必要があります。全員がこれを学ぶ必要があります。

「泣く者とともに泣くことを学ぶ。ただ泣くことを学ぶ。」(ローマ 12:15 参照)  
人生でこんなに泣いたことは今までありません。しかし、それはとても良いことです。人々はあなたが本物だと知るからです。涙を装える俳優はいます。でも、それが本物かどうか分かります。それは、あなた

が誰かの心をつかみ、その人の人生に語りかける機会を得る時です。それが私のラハイナへの祈りです。私は、私たちはこの町を愛しています。町はなくなってしまうかもしれません。では、何を愛せばいいのか？ それはキリストの体です。教会は、建物ではなく、人々だということに気づきます。それと同時に、ラハイナは決して建物ではなく、人々なんだと。教会の中と同じように、彼らはあなたを苛立たせます。－（笑）－ 彼らを愛しているのですが、でも彼らは人生で最高の部分であり、そして最も苛立たしい部分でもあります。

JD：いいえ、私は違います。

スティーブ：知っているよ。もう聞きました。JD は皆さんを魔法にかけたんですよ。－（笑）－ 私たちの心が主に従うように祈ってください。それだけが望みです。JD と分かち合ったように、もし主がこう言われるのなら、「あなたたちはそろそろ、年老いた牧師で、施設に移る時です。」

JD：あるんですか？ また後で話しましょう。

スティーブ：アサートンは、バプテスト派の牧師が行くところです。カルバリーチャペルの牧師にはありません。私たちはただ死ぬだけです。もし神が身を引くように言われるなら。アサートン バプテスト・ホームは年老いた牧師が死にに行くところです。まだあります。でも、お金持ちの人たちがいます。ええ、素晴らしい場所です。

JD：どうりで、カルバリーチャペルの牧師はいけないわけだ。－（笑）－ オッケイ、気にしないで。ここで聞きたいのは、今、必ずしも主を知らない人々がどのようにあなたのところに来ているのか、教えてもらえますか？ 一緒に話したように、あなたはカルバリーチャペルの名よりもイエスの御名を高く掲げているからです。私はあなたの始め方が大好きです。ラハイナでの出来事の後、このような時、このような場所で、福音を促進するより、非難をもたらしかねない。『イエスはラハイナを愛しておられる』について私がお好きなのは、恐ろしい、想像を絶する、想像を絶する危機に、あなたがイエスの御名を取り戻したからです。このTシャツは、遅れて来た人のためにもう一度言うておくと、これはスティーブのためだけです。私が（Tシャツ）をもう着ることはありません。だから、考えないでください。とにかく...スティーブ：カジュアル木曜日と呼ぶことにしよう。－（笑）－

JD：でも、私がお好きなのはそれがイエスだからです。あなたはイエスを人々に、人々をイエスに導いています。神は、神にしかお出来になれない方法で、「創世記 50 章 20 節」通りに、「あなたがたのしたことは悪です。しかし、神はそれを益になさり、こんにち多くの人を救われます。」

前に話してくれたことを話してくれますか？ 今でも、ほんの数時間の間に何百人もの人々があなたたちに辿り着き、あなたたちはそこで、彼らを導き、あなたはできる限り彼らを助け、そして主が彼らを導き、提供され、彼らがイエスのもとに辿り着くことを。人々はイエスのもとに辿り着いています。あなたがこの人々にイエスをもたらしているからです。

スティーブ：興味深いのは、私たちはどうやって必要を満たすかを考え始めました。みんな食料はあり、水もあります。数日後には、食べ物も水もたくさんありました。そして、人々は...なんていうんだっけ？ ワールドなんとかキッチン？ ワールド・セントラル・キッチンです。何でもいいですが。彼らは食事を手配しています。無料の食事、どこでも温かい食事を。そうして食べ物があり、人々はホテルで休む場所があります。今の間ですが。そこで私たちは、人々に奉仕するために何をすべきかを考えました。私は、「人々に尊厳を取り戻させよう」と言いました。だから、あちこちにあるハブに行く代わりに...ちなみに、そのハブはほとんどが地元の人々やコミュニティーの家族で構成されています。場所を探し、テントを

張り、食料を積み、水のボトルを置いています。カパルアの小さな空港には飛行機が飛んでいて、小さな飛行機、小さな飛行機……、飛行機の中身をトラックの荷台に積みこみ完全に空っぽにしましたが、満杯にもなりません。私はトヨタ・タコマの短い荷台に乗っています。だから、これらの小さな飛行機は…しかし、物資を空輸してくれた彼らの心に祝福を送ります。だから、たくさんの物を皆が持っていました。人々は衣服がありません。私の娘と家族のように、大事な書類は手に取り、何もかも残して出てきたから。さっき読んだ文章は真実です。私たちはいつも、何週間もの間、どこへ行くにも、書類を持って出かけました。結婚証明書、出生証明書、重要なものはすべて。先日もキムは、「私たちの荷物はどこ？」でも、それがすべてで…何を提供すれば、人の助けになるのか？ 私たちの役割は何か？ 私たちは教会として申し訳なく思っていて、本当に何もしていませんでした。ある程度は、人それぞれでした。それでも、あなたは手を差し伸べ、人々を助けようとしています。主よ、私たちの居場所は？ 私たちの居場所は？ 食べ物はたくさんあります。私たちはその一部を手伝って、荷物を運んでいます。しかし、人々は尊厳を取り戻す必要があることがはっきりしました。子どもたちのサイズに合わない靴や、10代の娘が着たがらないものを手に入れるために、服の山を掘り起こす必要はありません。先日、ある優しい女性から電話があり、キムは彼女と話しました。彼女は学校の教師で、就職したばかりです。すべてを失い、今は、どこかに引っ越されています。彼女は、「ひどい気分だけど、ブルージンジャーの服を着ていると、自分が自分であるような気がするの」と言いました。まるで「私が着るもの」みたいで。アロハシャツを着た JD みたいに。良いんです。ハワイにいるんだから。カルバリー・チャペルの牧師たちは、ここよりも本土の方がアロハシャツを着ているんです。

JD：それは良い指摘ですね。それが私の言い分で、こだわりです。

スティーブ：ハオレ（ハワイ語で白人）ー（笑）ー とにかく、私たちは考えていて、ロス（衣料・日用品店）や TJ マックス（衣料・日用品店）で何千ドルものギフトカードを買ったらどうだろうと考えました。基本的にターゲット（スーパー）以外ならどこでも。コストコやホームデポ、ロウズ（ホームセンター）など。工具を失った人たちがいて、私たちも工具の調達に取り組んでいます。誰かが惜しみなく与えてくれた物の山を掘り起こすのではなく、必要なもの、欲しいものを手に入れられるように、人々に尊厳を与えよう。あるいは、教会が直視すべきなのは、神が御子という最高のものを私たちに与えてくださったのに、何度も神に二の次を捧げているということです。ですから、どうすれば人々に最善を提供できるかと考えました。私たちはそれを始め、4万ドル弱のギフトカードを贈りました。そのくらいです。今、把握しようとしているところで、帰りにもう1万ドル買い足すかもしれません。日曜日にするための。それを考えているところです。しかし、その過程で、ハイアットや島のあちこちにあるハブ施設に行列ができ、数百人から千人規模が出入りするようになり、パウウェラのハブ施設は巨大になりました。そこにいる多くの人々は、ちょうど私たちがこのような事態に見舞われた翌週と同じような状況にあります。ヨシュア記では、ミディアン人がそこにいて、現れたのは、彼ら…

JD：ギブオン人ですね。

スティーブ：そう、ギブオン人。ギデオン人は笑っていて…

JD：ギブオン人だよ。

スティーブ：ああ、ギブオン人。ギデオンはどこ…？

分かった、では、まあ、何でもいいですが、あの連中は、古い汚れた服を着て、着古したものを着て、カビの生えたパンを持って、ヨシュアのところに来て言いました。「ああ、私たちは遠い国からやって来て…」

角を曲がったところから来たくせに、イスラエルをだましています。これって今、ラハイナで起きていることだ。と思ったんです。人々がやってきて、それを利用しようとします。死体があるとハゲタカが集まる。人々はさまざまな理由で利用されてしまう。それで最終的に、FEMA（連邦緊急事態管理庁）や赤十字の主要センターがあるハイアットのリソースセンターに行きました。どこにでもありますが、主要なところですよ。なぜなら、その人たちは間違いなく...そこにいるほとんどの人たちは本当に必要としていて、少なくとも彼らは本当に必要を満たそうとしていました。彼らは、パーティーのためだけにそこにいたわけではありません。その一部だから。そこで私たちはギフトカードを使いました。ギフトカードを渡すのですが、名前と電話番号とハワイ ID をもらい、それをチェックして、ラハイナであることを確認してから、頼まれたギフトカードを渡します。そして私たちはそれをまとめて.... 今は "呪い"と呼ばれていて、ジョットフォームと呼ばれるものです。基本的には、小さな用紙を使って、カードを受け取ったら、私のところへ来て、列に並んでもらいます。

「やあ、これがあなたに用意されているものだよ。私たちからテキストメッセージが届きます。」そこには公園内にある教会の小さな写真が載っています。「公園にある教会を見たことがありますか?」「ええ、公園で教会を見たことがあるわ。」私たちはもう 30 年もそこにいます。もし見たことがないなら、ギフトカードを取りあげます。— (笑) — 「あなたはここに住んでいないでしょ」と。

JD: イエスの御名によって。

スティーブ: ええ、イエスの御名によって。まさにそうです。で、後ろの小さな女性に渡すんです。でも、手短かに言うと、結局、「これに記入して下さい。あなたの必要性は何ですか? 家を失いましたか? 車を失いましたか? 避難していますか? 仕事はありますか?」そういう簡単な質問です。個人的なことではなく、基本的な必要についてです。「また電話させていただきます。これらのことを検討し、どのような必要性があるか、電話で確認させていただきます。お手伝いできることがあるかもしれません。」文字通り、私たちが記入した、あるいは記入した人に送った 150 から 200 枚ほどのカードを、彼らは友人に送ると決めたことがわかっています。この人達は何かプレゼントしているんです。それで今朝、私の祝福された美しい妻が携帯電話を見て....、私の携帯は静かで、サイレントにしていました。彼女は見て、「150 のメモが届いたわ」と言うんです。数百枚をプリントアウトし、使い切りました。だから、彼らは動いていて、私たちは今、必要に応えようとしています。何人かの家賃を払い始めるつもりです。もしあなたがこれを見ているのなら、何も約束はできませんが、しかし、私たちは正当な家賃のニーズがある人々を助けようと思っています。

JD: 医療保険。スティーブ: 住宅ローン HOA 費用の正当な必要性。自宅は燃やされ、住宅ローンと HOA（不動産管理組合）の費用が残っています。もし支払わなければ、ローンが滞納になり、家がないので、家賃も用意しなければなりません。悪夢ですよ。だから人々は、壊れてしまいます。だから私たちは、そのようなことすべてに援助しようと思っています。さまざまな人々が惜しみなく寄付をしてくれています。「Jesus Loves Lahaina.com」で T シャツを注文できます。40 ドルで、T シャツとしてはかなり高価です。品質は保証できません。わかりませんが、なんだか、私にはいい感じです。あなた、素晴らしいよ!

JD: 終わったらすぐにアロハシャツを着るよ。— (笑) —

スティーブ: このシャツを着れば、あなたもハンサムに見えるはずだよ。しかし、すべての資金...最近、何通かメールがありました。JD に共有しました。「では、その資金はどこに行くんだ?」と。ギフトカードや家賃の支払いなど、何に必要なか誰にもわかりません。さまざまなことに。言い切れません。す

べての再建と後始末には3、4年かかるでしょう。ですから、この先どうなるかわかりませんが、あなたが私を信頼してもしなくても、神は私たちの面倒を見てくださいます。Tシャツの大きな役割は、人々がラハイナを忘れてしまわないようし続けることです。今はモロッコ（大地震）です。次の悲劇があちこちにあります。私たちはリストを見れば、人々が来て、「うわあ、この人たちはまだここで苦しんでいるんだ」と気付くまでは忘れていくでしょう。そして...、今、何を言おうとしたのか忘れてしまいました。

JD：今はホテルで聖書の学びをしているのですか？ 土曜日に？

スティーブ：いや、日曜の夕方にハイアットのルアウ・ガーデンでしています。つながりができたからです。素晴らしいですよ。というのも、私たちはハイアット・リージェンシーと、フランという素敵な女性を通してつながりができたからです。彼女は私たちがやってきたことを見て、本当に祝福してくれて、いい関係を築いています。それで日曜日の夕方、ルアウ・ガーデンで礼拝を始めました。ルアウでは何も起きていないので。今度の日曜日は、何か分かりませんがやることになっています。ワイルドな男トッドは、5時から7時まで何かするのですが、「音楽と景品とフィッシュフライをやるんだ。スティーブ、どうやるか知ってるか？」「ああ、もちろんだよ。問題ないよ」と。ー（笑）ー

JD：ご主人が癌になり、医療保険料が必要だという人に声をかけられたことについて、私に話してくれたことを簡単に分かち合ってください。今、あなたたちが寄り添っていますよね。

スティーブ：ええ、まだなんですよ。JD：すみません。スティーブ：そうするつもりです。それを聞いてすぐに... キムは電話で...文字通り、彼女と私たちの教会の優しい女性パット、そして他にも何人か助けてくれる人はいますが、彼らも途中で仕事をしたり、いろいろやろうとしています。この間、娘ともう一人、パメラが手伝ってくれました。しかし、何百もの記入フォームから一人一人に電話をかけ、「お元気ですか？」「このフォームを送信した後、状況は変わりましたか？」彼女は先日、車で人々にノートパソコンを配ったり、その他のニーズにも応えてくれました。でも、そのうちのひとつは... 彼女はある女性と話をして...ニコルだったかもしれません。ニコルが健康保険のことで助けが必要だと言っていた女性と話をしました。彼女の父親が、確か癌が何かだったと思います。「私たちは今、これまで以上に健康保険を必要としている」と。私はただ、こう言いました。「彼女に電話して、それはもう大丈夫だと伝えてくれ」と。そして、多くの人が...そこにはせびる人たちがいます。まだ利用しようとする人がいるのを知っています。誰だったっけ？

JD：ギブオン人。スティーブ：ギブオン人、そうです。とにかく、そういう人たちがいます。しかし、神は義人にも悪人にも雨を降らせてくださいますね？ だから、それは常に起こることです。しかし、本当に必要とされている人々のために、神は識別力を与えてくださいます。キムにも、先日、ニコルにも言いましたが、そういう人がいたら知らせしてほしい、彼らのためにできることをしたいと。それは私たちが話したように、この男たちと同じ心です。だから、神が私たちに必要がある者を連れて来られ、どんなことであろうと、私たちの必要をすべて満たしてくださると知っています。それは主が私たちにもたらす真の必要であり、主はそうした必要を満たすために私たちを助けてくださいます。それはわくわくしますが、疲れます。それは、何というか...分かりません。

JD：信じられませんが、もう...あと少ししか時間がありません。あなたに尋ねなければ、大失態になると思うのは...皆さん、スティーブ牧師のフェローシップは大きな教会ではありません。週半ばの聖書の学びは、今ではもう利用できないラハイナにある建物を借りてしていました。日曜日の朝は、ビーチの公園で。スティーブ：建物とビーチの公園。両方です。

JD：市と郡が問題を起こし始めたのは1年ほど前か、今年でしたか？ 手短かに前置きします。彼らは今、教会がない/ホームレスですよ？ なぜなら、あなたは自宅で聖書の学びをしているからです。

スティーブ：そうです。JD：そして、ビーチでもしている。あなたは今、基本的に有罪判決を受けた重罪犯だと言いましたか？

スティーブ：あなたはまだ、すべてのいきさつをご存知ない。実は、新たな展開があります。

JD：そうですか。手短かに言います。「私たちがまだここにいるなら」「私たちがまだここにいるなら」いいですか？ これは預言的な言葉ではありません。それがふさわしい言葉だとも思いませんし、ただ、私を感じた言葉です。神はあなたに場所を与え、あなたを用いようとしておられます。

なぜなら、神は知恵ある者を恥じ入らせるために、この世の愚かなものを選ばれるからです。(I コリント 1：27 参照)

スティーブ：それは今夜証明されましたね。

JD：バーテンダーと車のディーラーから牧師になったんですよ？

スティーブ：そうです。ただ、飲酒運転はしないこと。－ (笑) －

JD：待てよ、だって私はディーラーだから運転し、あなたは...

スティーブ：私はディーラーも、バーテンダーもやっていました。車の。－ (笑) －

JD：でも、こんなことが起こらなければ、こんなことには決してなりませんでした。つまり、神には、明らかにユーモアセンスがあらわれます。どこからともなく、ヨセフを知らない新しいファラオが現れ、法的には問題なさそうです。簡単な説明をお願いします。まだ集まっていて、建物には入れないし、それはすべて...

スティーブ：復活祭の翌週の出来事でした。私たちは30年、公園で集まっています。美しく、海に面した場所です。14年間は、許可証などを持っていましたが、当時、ラハイナの公園局局长が言いました。

「そのことは忘れてくれ。戻って来ないように。許可は必要ないから。許可証にお金を払っているのはあなたたちだけだ。教会と州の分離を守ろう。公園の保険に加入しておけばいいから。」私たちは30年間で、100万ドルの保険に加入しました。私たちはそうしていました。しかし、イースターの翌週、コロナの間にもいくつかの波がありましたが、イースターの翌週、公園の管理人が現れ、私に刑事告発の逮捕状を書いてきたのです。あの頃、あの日々はもう終わったのだと思いました。でも、そう、犯罪者逮捕の召喚状、そんな感じです。とにかく、公園で教え、無許可で集まり、無許可で御言葉を教え、音響設備を使ったことで私は犯罪者なのです。走行中の車や、一日中そこでパーティーをしている人たちに近くはない場所なのに。している時間は1時間半くらいですよ。手短かに言うと、私は逮捕状を受け取り、太平洋司法協会の素晴らしい弁護士に連絡を取りました。「私たちにはこれがある、これがあります」と私たちの教会の歴史について、何時間もかけていろんなことを書きました。そして次の瞬間彼らはこんな感じでした。「我々はいつらをやっつけるんだ。彼らは何が起こったかわからないだろう。この件に関して、他のことに関して、我々には多くの判例がある。」

2日前に...それが金曜日で、私の第一審は月曜日の朝でした。太平洋司法協会のジョーから電話がありました。彼はオアフ島にいて、素晴らしい人です。彼は、「スティーブ、私たちはあなたの代理人にはなれない。」と。私は、「え??」「今、気づいたんだけど、これは犯罪だよ。私たちは民事だ、私たちは民事だ。後から訴えればいいんだけど、でも、あなたには刑事弁護士が必要だ。」私は「素晴らしい」と。それでケオキに電話しました。彼は教会の仲間で、副巡査長で素晴らしい人です。彼は言いました。

「ああ、これが宿敵の電話番号だ。これは僕が絶対に会いたくない刑事弁護士だ。」ええ、まさに。ビルは、こっちにいる人で、フルネームは言いませんが。たぶん大丈夫かな、ビル・ハリソン、素晴らしい人です。彼は 20 年間、ACLU（アメリカ自由人権協会）の代表であり、主要な弁護士だったと思います。それから彼はイエスに人生を捧げ、今は以前自分が壊したものを修復しています。素晴らしい人で、素晴らしい証です。手短かに話すと、審問が 5 回終わりましたが、私はまだ出廷する機会はなく、今は本当にそうしたいのですが、私の裁判の期日は 8 月 3 日になるはずでしたが、5 回の審問の後、JD は知りませんでした。先週、訴えが却下されたと通知が来たのです。一拍手

JD：まさか、本当に？

スティーブ：でも、でも…

JD：賠償請求なし？

スティーブ：賠償請求なし。だから基本的に、彼らはいつでも好きなときに控訴できます。だから、これから民事訴訟の弁護士と打ち合わせをして、そこからどうするかを考えて、すっきりとクリアにして終わらせるつもりです。

JD：知らなかったよ。主を称えます。

スティーブ：ああ、言う機会がなかったんだ。良い知らせでもあり、悪い知らせでもあります。でも、私はなんだか犯罪者に戻りたい気がします。－（笑）－

JD：キリストのための犯罪者ですね。知らなかったよ。これは、すべてが起こる直前のことですか？

スティーブ：これは先週起きたばかりです。

JD：8 月じゃなくて？ スティーブ：ほんの 2、3 日前のことです。

JD：2 日前に却下されたんですか？

スティーブ：そうです。連絡があったばかりです。というのも、焼け跡のど真ん中で、牧師が刑事責任を問われ、法廷に立たされるのは、あまり良い印象を与えなかったでしょうから。その一方で、彼は教会を通じて何十万ドルも人々に寄付し、人々を助けている。

JD：ワオ、それはとてもカッコいい。

スティーブ：それは私の想像です。私の考えです。彼らは決して譲らなかったんです。公判のたびに、「いや彼を連れて行く。やるんだ」と。弁護士は「本当にこれでいいのですか？」私は分かりませんが。主は知っておられます。

JD：じゃあ、それを撤回するよ。神はあなたのために他の土地をご用意されておられない。－（笑）－

スティーブ：私たちが彼らを十分に訴えない限りは。冗談です。

JD：民事に戻って…スティーブ：ああ、民事は、どうなるかはわかりません。その中で神を称えたいです。心の中では、「彼らを押さえろ」肉では、「お前は私の人生の多くを無駄にしてくれたな。お前は私の家族に悲しみと痛みと恐怖をもたらした。奴らを縛り上げる。」－（笑）－『ハワイ州およびマウイ郡 対 スティーブ・サントス牧師』私がもらった紙にはそう書いています。でも、そうしたくないのと同じくらい、私は神を敬いたいです。そうです、本当にそうします。そのうち分かるでしょう。私には分かりません。

JD：神があなたを尊重してくださったようですね。ワオ。神がそうしてくださるのが大好きです。素晴らしいです。では、ここからどうしますか？ あなたにはエリシャがいる。

スティーブ：私はここに残ります。あなたが戻るんです。

JD：ああ、礼拝の後ということですか？

スティーブ：あなたはラハイナに行って、私がここに残ります。

JD：ああ、私がラハイナに行くのか。－（笑）－

スティーブ：Tシャツを手に入れたしね。JD：そうだね。ああ、あなたの計画がわかったよ。

スティーブ：私は教会を手に入れた。－（笑）－ アロハシャツも持ってきたよ。－（爆笑）－

スティーブ：いや、私にはできない。子どもたちを残して出て行きます？ 子ども達を置いてはいけませんね。

JD：真剣な話だけど、実はその話もしましたね。最後の10分間を締めくくるにはいい方法かもしれませんが。これは非常にリアルです。非常に生々しく、彼らが戻っていくところです。これは、ほんの束の間の休息に過ぎません。ところで、今夜は来てくれて、分かち合ってくれて本当にありがとう。－拍手－これが現地の現実です。彼らはラハイナに戻りますが、私たちはまだここにいます。お許しください、これには私自身も含めますが、私たちは今あるものを当たり前だと思っています。これは罪の示しであり、挑戦でもあります。また、これまでずっと話してきたように、深い祝福でもあります。それは本当に...私にとって良いことでした。すべてが見通せるようになったからです。ほら、私は家に車で帰り、家族がいて、教会があります。これは...私の心の声を聞いてください。そして、最後にスティーブに、ひと言お願いします。私たちはとても祝福されています。自分自身も含め、神が私たちに与えてくださった祝福を当然だと思うような人たちに数えられることがないことを願い、祈ります。私たちは本当に祝福されています。どうか、どうか、スティーブとキムのために祈ってください。最前線の戦場に戻るのですから。起きている時間、電話対応、ニーズへの対応に費やす時間は、寝ている時間よりも長くなります。彼らはこの現実に戻るのです。

では、最後に私たちにできることを教えてくださいませんか？ 私たちはすでにあなたをサポートし、後ろで応援していますけど、ここは祈る教会であり、素晴らしい教会です。この教会は、もし私が牧師でなかったら...あなたがこの教会を取ることはできないよ、はっきりさせておきます。ここが私が通う教会です。それでもあなたはこの教会の牧師にはなれません。－（笑）－

スティーブ：あなたを私の牧師にすることは絶対がないよ！

JD：違いますよ、私の教会を奪いに来たんだから。

スティーブ：私の椅子がJDの椅子よりも高いはずだったのに。私がただひとつ言ったのは、「あなたにTシャツを着てほしい、そしてあなたより高い位置が良い。」－（笑）－ 私がここで、この椅子で少しもぞもぞしていることに気づきましたか？

JD：でも、あなたは私より髪の毛が多いよ。－（笑）－ でも、とにかく、私たちはこの状況をあなたたちと共に通り、私たちはあなたたちと一緒にいます。あなたたちのために、あなたたちの家族のために、教会の家族のために、私たちができることを祈りとともに具体的に教えていただけませんか？

スティーブ：皆さんは写真を見たことがあるだろうし、ソーシャルメディアでたくさんの写真を見ることが出来ます。ずっと増えています。その写真を見たとき、次に世界中で起こる悲劇を目にしたとき、ソーシャルメディアやニュース、あらゆるものを覆い尽くすような悲劇を目にしたとき、あなたが愛する、あなたが命を捧げたいと思う孫のような存在がその場所にいるかのように、主に助けを求めてください。主はあなたにその場所に対する心を与え、祈るようにされるでしょう。1週間半か、もうちょっと経った

頃、ソーシャルメディアが復活しましたが、誰もフェイスブックやインスタグラムなどをやっていませんでした。そして、人々がそれを取り戻し始めたとき、突然、自分のフィードを見て、キムはこう言ったんです。「この人たちは自分の人生を生きていて、幸せで、あっちへ行ったりこっちへ行ったりしている。」『私たちを見て、ねえ!』とフェイスブックでも、自撮りでも、何でも。彼女はこう言いました。「彼らに腹を立てることはない。彼らはパラダイスが燃えたとき、あるいはその他の悲劇があったとき、あなたと同じように人生を生きているのだから。」つまり、誰も良い人なんていません。私たちは皆、自分の快適さや家族の快適さに目を奪われがちで、当然のことながら、そこを助けようとしています。それはただ、憐れみの心を与えてくださるよう主に願い、そして、弟子が「主よ、私に祈りを教えてください」と言ったように、「主よ、私に祈りを教えてください」と主に願い求めてください。そしてもちろん、「主の祈り」を見てください。「この状況で、この人のために、ラハイナのために、今、目の前にあること、主よ、私に祈ることを教えてください。」でも、本当に求めてください。ただ言葉だけでなく。これは私が学んだことです。「神よ、教えてください。私に憐れみの心を与えてください。この人とその痛みに対するあなたの御心を与えてください。彼らを感じていることを私を感じることができるよう助けてください。そうすれば、私は本当にあなたに仕えることができます。私たちは主の奉仕者なので、私たちが神に耳を傾け、神に密に従うことができるように、私たちのために祈ってください。私たちが途中で世の中のものを追い求めたり、お金が入るようになってお金を信頼したり、そういうことにならないように。そんなものを信頼したくありません。すぐに消えてしまいます。昨夜の聖書の学びで神が語られた戦車と馬のように即行です。主はヨシュアに語られました。「あなたがその戦いに挑むとき、また別の戦いに臨むとき、この5人の王との戦いに勝利するとき、すべての馬の筋を切り、戦車を火で焼きなさい。」(ヨシュア 11:6 参照)

「わたしはあなたにこのようには戦って欲しくない...」それは魅力的だったでしょう。あなたはこの戦いに勝ち、戦車も馬も持っていなかったの、「わお! 手に入れたぞ!」「もう歩く必要はない。これからは戦車に乗るぞ。」しかし、神はこう言われました。「この世のものを捨てなさい。この世のものを信頼しないでほしい。わたしに信頼してほしい。」私たちのためにそのことを祈ってください。私たちがこの世のものを信頼するのではなく、超自然的なもの、神の馬を従えた神の戦車がやって来て、神が望まれる働きをなさるのを見ることができるよう。しかし、これらの馬が私たちやあなたの人生にとってどのようなイメージや型であろうとも、神に目を向けてください。主が神です。超自然的なことを主に求め、私たちのために、カルバリーチャペルのために、主のために祈ってください。人々のために祈ってください。今、オンラインで見ている人たちの中には、JDを愛しているけど、自分の牧師にはしたくないと思っている人たちがいますね。— (爆笑) —

JD: 待って、待って、待ってください。そのような皆さんにお話ししたいのは... — (笑) —

スティーブ: 「カルバリーチャペルか...。ああ、おもしろみがない...」 — (笑) —

JD: もうやめてください。スティーブ: 皆さん、私たち呼んでくれてありがとうございます。本当に休息ではありません。休み方が分かりません。言ったように、今は本当に休み方が分かりません。戦うか逃げるかの状態です。

JD: じゃあ、こうしましょう。カポノ、上がって来て下さい皆さんご起立ください。祈りで締めくくりたいと思いますその後、スティーブ牧師とキムと一緒におられるので、質問などあれば、二人と話すこと

ができます。祈りで締めくくりたいと思います。特に、神が彼らを助ける人々を起こされるよう祈りたいと思います。なぜなら、彼らは今、埋もれてしまっているからです。あなたがそのための祈りに同意してくださるなら、神がその重荷を背負うことのできる人々を具体的に立ててくださるようになります。彼らは毎日、昼も夜もなく働いているからです。それは...必要性はどんどん高まっていて御言葉が広まっています。それが私たちが望んでいることです。究極的には、これはすべてイエスの御名によるものだからです。あなたがしていることはすべて、イエスを人々に伝え、人々をイエスに導いている。しかし、あなたが言うように、私はそれが好きですが、現地の軍隊ではなく、膝間づく聖徒が必要。そうですね？

では、祈りましょう。よろしければご一緒に。父よ、私の兄弟であるステイブを感謝します。私は彼をととても愛しています。あなたやあなたの民、ラハイナの人々に対する彼の心を愛しています。主よ、これはあまりにも壮大です。ステイブが、エリヤについて分かち合ってくれたように、この先はあまりにも壮大です。超自然的な力が必要になります。主よ、超自然的に彼らをこの時期のこの強さで支え続けてくださるだけでなく、彼らのそばに寄り添い、彼らのために、彼らと共に、彼らにとって重すぎるこの重荷を一緒に背負ってくれる人々を起こしてくださいように。神よ、あなたにしかお出来になれません。そして主よ、彼らを励まし、彼らのそばに寄り添い、できる限りの手助けをすることが、教会の体としての私たちの深い特権であることを感謝します。主よ、兄弟ステイブと妻のキム、特にニコルのために祈ります。どうか神よ、完全に、奇跡的に、超自然的に、完全に癌がなくなりますように。主よ、彼らが戻って、そこに待ち受ける生々しさと現実のすべてに直面するとき、あなたが聖霊の力によって、すべてはイエスよ、あなたのご栄光のために、あなたが召されたことを彼らが実行できるよう祈ります。そのことに感謝します。イエスの御名によって、アーメン。ひと言言わせてください。このシャツを作ってくれたコロラド州の娘ジェニファーのことです。これは素晴らしく、Tシャツは素晴らしく、祝福です。でも、彼女はとても大変なんです。家族がこっちにいる間、彼女はコロラドにいるのがとても辛かったのです。そういう場所で、そういう感じになります。彼女は5日間来て、赤ちゃんと3歳の小さな息子、私の孫息子、赤ちゃんの女の子と孫息子を残し、5日間やって来て、また戻っていきました。彼女は引き裂かれているようです。ジェニファーを知っているなら、彼女はとても強いです。まるで強いクッキーのようですが、でも聞いてください、彼女は人間です。とても人間的です。だから彼女も辛かったのです。しかし、それに加えて、何千人、何万人もの人々が家を失いました。ラハイナにいる愛する人を失った、本土にいる愛する人たち。非常に、非常に広範囲に及びます。私が分かち合ったニコルのことのように、その場所で悲嘆に暮れても決して孤独を感じないでください。とにかく、皆さんありがとうございました。神の祝福がありますように。－ 拍手喝采 －

---

メッセージ by JD Farag 牧師カルバリーチャペルカネオヘ

<http://www.calvarychapelkaneohe.com/>

Calvary Chapel Kaneohe 47-525 Kamehameha Hwy. Kaneohe, Hawaii

筆記 hukuinn7